

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所 放課後等デイサービスのどが

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	1	活動内容を工夫し、人数の調整や別室での活動等を取り入れている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	1	4	利用者の人数を考慮し、調整している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	1	必要に応じて改善していく
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3		活動内容が利用者にとって取り組みやすいものか 今後の計画に役立っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			連絡帳による保護者の意見等から意向を把握し、改善対応に心掛けている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	3	関係機関との連絡や意見交換の機会を設けていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			定期的に研修が受けられる様に職員に話をして研修を促していく。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的なモニタリング、子どものニーズや課題に向き合い、計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		アセスメントシートの活用など、より具体的でわかりやすいツールを備えていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		職員の意見を聞き取り立案していく
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		一人一人の特性に合わせて興味関心を生かした内容を工夫
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	1	長期休日には制作活動やトイトレの練習を行う
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		集団が苦手な子供には場所や時間を設定し個別活動で対応できるようにしておく
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		役割分担を明確化し、スムーズに行動できるよう努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	2	重要案件はその日のうちに共有していく
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		業務日報や個人記録をしているが、検証・改善までに繋がっていない為、検証・改善までに繋がられる項目を作成する。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			利用者のニーズや成長に合わせた目標の見直し、課題などを色々な観点でとらえるためモニタリングを行い、判断に努めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2		5領域を考慮した活動を工夫していく
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			学校との情報共有に努めている。また、連絡調整が確実にとれるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	1	聞き取りの際、病院の連絡先とどうしたらよいか対応法を聞いているが現在医療的ケア児は不在。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4		相談支援事業所の担当者を通じて情報共有に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	担当者や保護者の意向を確認しながら必要に応じて行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	1	保護者の意向を聞き必要な療育情報等の助言を受けていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			6	交流の機会がないため情報等を収集していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3		3	定期的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			連絡帳の活用や送迎時の際に伝える事を心掛けている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	1	課題に対しての関わり合い方の助言をして行く ペアレントトレーニング研修
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			パンフレットなどを用いて見てもわかるように丁寧な説明を心掛けている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		定期的な面談や課題や問題行動について日頃から情報を共有し助言や協力体制を築く。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1	2	年に一回の利用に関する説明会や交流会を計画

非常時等の対応	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			苦情についての事実確認を含め、迅速で適切な対応を心掛けている。スタッフ全員で話し、対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	4		会報等の作成や活動内容の写真をとり記録を残していく担当者を決める
	㉕	個人情報に十分注意しているか	6			保管場所に鍵をつけて対応。守秘義務の遂行
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			正しく伝達できるよう文書にし直接での保護者との連絡を主としている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		5	今後やっていきたい。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2		各マニュアルについて説明を行って行く。職員の周知重要
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			非常災害発生に備え、避難訓練を定期的実施している。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			勉強会の開催
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	3		身体拘束が必要な場合を(具体例を)皆で確認し必要に応じて説明できるようにしておく。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	1	アレルギーについての研修やマニュアルの確認
㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		6		事業所内の安全点検の実施やその都度報告の徹底	

回答者6名